



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し 勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子! 413名

【今回の学校だよりも、電子媒体でのみの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。( )】

## 虹のように心鮮やかに3年生のみなさんの作品が輝いています

4月から健康診断がはじまり、5月を経て今は保健室の前では静寂が保たれています。4月初旬は2階の廊下を走る音がすさまじかったのが嘘のようです。

私は、なぜ廊下を走る子が多いのかをあらゆる角度から観察していました。すると、100%の確率ではないのですが、ほぼ95%以上の確率で次のようなことがわかりました。①まず、廊下を走る日は、曇りの日や雨の日が多い。(99%)②次に、学校生活過ごした年数の少ないお友達がよく走っている。(93%)③注意してもまた同じお友達が繰り返している。(97%)④走っている子にインタビューすると、「体育が終わってトイレに行くために急いでいる。」(96%)ということ。⑤体育館などに行くときより、先生が追いついていない体育が終わってからの先頭のお子さんが多い(99%)でした。そこで、私は、省エネも大事ですが、けがをしてもうすぐ訪れる楽しいプールでの学習や、思い出づくりの夏休みや、社会体育・スポーツの各種大会や、お習字やピアノ、英語のスピーチなどの発表会に出場できなくならないように、けがして辛い日々が来ないためにも知恵を絞って、ある朝から、特に曇りや雨の日は廊下の電気をつけるようにしました。するとどうでしょう。廊下を走るお友達がとてもとても減ったのです。つまり、廊下を走る原因の多くは、「廊下が暗くて怖かったから(急いだ)」ということが主たる原因の一つであることがわかりました。昨年度も一度私松尾史朗が「勇気をもって歩きましょうね。」と全校放送したのを児童の皆さんはおぼえていますか？(今年は、けが防止のために統計を取ったので残念ですが間違いありません。)

梅雨の時期が来て廊下が暗くて怖くなって走ってけがをするお子さんをなくすためにも、怖がらないように本校では管理棟の廊下の電気はつけています。体育が終わってトイレに急いで行きたくても「勇気をもって歩く」を全校あげて声掛けしております。廊下を走ってけがをして、楽しい夏休みが送れずにおうちで途方に暮れるお子さんが一人もいないでほしいなど願っております。

最近、管理棟の廊下も階段も電気をつけ始めて、さらに「廊下で勇気を持って歩く」お友達が増えました。2階の管理棟が特に静かになりましたので、再び観察していますと、学習参観が終わり、2階の廊下のテックスに色彩の学習のために素敵な虹を描いた3年生の皆さんの絵が虹の形で素敵なアーチを描くように掲示されておりました。「3年生の鮮やかな作品が心を落ち着かせているのかもしれないなあ」と感じましたので早速ご紹介いたします。ちょうど今日(6月2日【月】)登校して、メールボックスを確認しに行っていた動き者の様々な学年お友達に「みなさんの気に入った絵はどれですか？」と尋ねた時の様子です。右のお写真の先生は、ちょうどお見えになった3年生の永水知子先生です。(同学年の板野慶信先生は教室に行かれていました。)

今回、『勇気をもってピピらず廊下を歩き、さわやかに笑顔であいさつする』お子さん方を見ていると齊藤隆介さんの『モチモチの木※』を思い出しました。世界のすべての子ども達が、本校の児童のみなさんように正しい判断力を持った**勇気のある子ども達へ**と成長してほしいものです。

※『モチモチの木』(モチモチのき)は、 斎藤隆介 作、 滝平二郎 絵の 絵本。1971年11月、岩崎書店 発行。小学校教科書にも長く広く採用されており、2020年度の全ての小学校3年生の教科書に掲載されている作品です。



・・・きっと 大丈夫さ ...心に決めたことだから ...♪

ミニトマトが実を付けました  
おめでとうございます

2年生のみなさんのようにミニトマトは着実に日一日成長しています。



5月8日までは全然でしたが…  
肥料と水とまごころで育ちましたね。あとはカラスに気を付けてください。



・・・大きな夢じゃなくていいよ

自分らしくいれたらいいよ・・・

作詞・作曲 石崎ビュイー